

### ③ 市民グループと連携した地域密着型書店の取組【留萌ブックセンターby三省堂書店】

#### 留萌ブックセンターby三省堂書店

平成22年12月に留萌市内で唯一の書店が閉店したことを契機に、翌23年、市民グループ「三省堂書店を留萌に呼び隊」が結成され、留萌振興局や留萌市役所など関係機関との連携により誘致活動が展開された。

市民グループの熱意に応え、三省堂書店は人口が3万に満たない留萌市に平成23年7月、「留萌ブックセンターby三省堂書店」を開店した。

○ 所在地：留萌市南町4丁目73-1（マックスバリュ留萌店 別棟）

○ TEL：0164-43-2255

#### 市民グループとの連携のポイント

「留萌ブックセンターby三省堂書店」は、市民グループを中心に地域全体で誘致することで出店が実現した、地域密着型の書店です。

また、市民グループと書店が連携して、市民に読書に親しんでもらうための様々な企画を立案するなど、子供から高齢者まで市民が読書に親しむ環境を創り出している先進的な事例です。

#### 地域への書店誘致

平成22年12月に留萌市内で唯一、長年営業していた書店が販売不振により閉店したことから、市内に書店がないことを憂慮した市民グループが「三省堂書店を留萌に呼び隊」を結成し、市内で臨時的参考書販売所を開設していた「(株)三省堂書店」に、出店要請活動を始めました。

当時の三省堂書店札幌店長だった横内正弘氏は、地元の熱意に応えるため、従業員雇用などの業務を現地の店長に一括委託する、新たな方式による出店計画を社内に提案しました。

また、「三省堂書店を留萌に呼び隊」では、「三省堂ポイントカード」の会員を市内で2,500人集め、留萌振興局では、三省堂書店と読書環境づくりなどを協力して進めるための包括連携協定締結を提案するなど、それぞれが知恵を出しあい、ひとつひとつ形にしていく中、平成23年7月に「留萌ブックセンターby三省堂書店」は開店しました。

出店基準が人口30万人とする三省堂書店を、当時、人口が2万5千人程の留萌市へ誘致するという、異例の出店が実現できました。

#### 地域密着型書店の開店

「留萌ブックセンター」開店は、市民にとって大きな喜びになったことに加え、留萌管内にとっても大きな地域貢献のひとつにもなったことから、留萌振興局は平成23年7月に三省堂書店との間

で包括連携協定を締結しました。

さらに、平成24年6月には北海道と三省堂書店の間で包括連携協定を締結し、協定の範囲が北海道全体に拡大されました。

三省堂書店は、「留萌ブックセンター」の開店にあたり、本店から社員を派遣せず、平成22年に閉店した市内の書店に勤務していた今氏に「留萌ブックセンター」の運営を委託しました。

「三省堂書店を留萌に呼び隊」は、「留萌ブックセンター」の開店後、団体の名称を「三省堂書店を応援し隊」に変更し、読書を通じて青少年の健全育成を図るためのボランティア活動を行っています。

#### 読書に親しんでもらうための取組

「留萌ブックセンター」では、留萌市民に書店を身近に感じてもらうため、「応援し隊」や市立留萌図書館など関係者からの意見を取り入れながら、書店内にとどまらず、様々な機会を活用して、本に親しむ環境づくりの充実に取り組んでいます。

「応援し隊」では、「留萌ブックセンター」と定期的に意見交換を行い、市民に読書に親しんでもらうための様々な企画を提案するとともに、事業の実施にも積極的に協力しています。

「留萌ブックセンター」では、市立図書館や商店街振興組合等と連携を図り、「応援し隊」の協力も得ながら、各種企画の提案・開催に取り組むことにより、市民への活字文化の普及推進に努めています。

「留萌ブックセンター」では、書店が留萌郊外に位置していることから、書店まで出向くことが困難な高齢者等に配慮し、市街地の商業施設「るもいプラザ」や市立病院で毎月出張販売を実施しており、市民にも定着してきています。

また、「るもいプラザ」での出張販売では、高齢者の来店が多いことから、看護師経験者等の協力を得て、隣接するスペースで健康相談も行われて

おり、高齢者に大変喜ばれています。

読み聞かせの実施については、本を身近に感じてもらうための企画として、店内でのおはなし会を毎月実施しています。

当初は書店員や「応援し隊」が朗読していましたが、読書の楽しさを認識してもらうため、小学生の読み手を募集したり、祖父母や両親と子供と一緒に朗読したりするなど、新たな企画にも取り組んでいます。



また、子供たちに本を親しんでもらうため、市立留萌図書館と連携して「おたのしみカード」を

作成しました。「留萌ブックセンター」や市立図書館のカウンターでスタンプをもらい、カードが一杯になると文房具などがもらえる仕組みで、楽しみながら本に親しんでもらう環境づくりに取り組んでいます。

「三省堂書店を留萌に呼び隊」が出店要請を始めた当初 2,500 人の会員を集めた「三省堂ポイントカード」は、平成 28 年 9 月現在、会員数が 1 万 5 千人を超えました。

#### 今後の展開

「留萌ブックセンター」では、最近では、留萌市内だけでなく、書店がない近隣の町村からも、イベント開催時などでの臨時出張販売の要望があることから、要望に応える形で臨時出張販売を行っています。

「留萌ブックセンター」では、今後も「応援し隊」や市立留萌図書館等と連携しながら、「二度と書店のない街にたくない」という想いに応え、地域住民が読書に親しむことのできる環境づくりに取り組んでいくこととしています。